

ゼミの後期&来年度スケジュール

共通テーマ

ブランドについての文献を読み、事例を収集して考察、仮説を設定して実証を行う。それを文章化（報告書）としてまとめる。

最終目標の一例

ブランドエクイティモデルの構築&実証

できればブランド拡張などの成功条件についても実証

・そのためにならなければならぬ点

過去の研究ではどのようなことが言われているか？

各節について、紹介した論文群について比較表にまとめる。

現実の事例や考察によって自分たちのオリジナリティをどうだしていくか？という視点で読む&紹介する。

文献の紹介は簡単でよいので、上記の目的に役立つようにまとめた形で報告（全員が読んできていることを前提として）。

年内に仮説設定、調査票作成

年明け早々に分析結果の一次報告。

新年度にまとめ。

個人別ケースのまとめ

事実をまとめる。

なるべくデータ（二次データでよい）を集める。

対象は自由

対象企業、業界、ブランドなどについての設定報告（11/25 紹介程度でよい）

中間報告的 1月

サブゼミのまとめ

ビールorクアーズについてケースとしてまとめる。

以上、今年度については別表参照。

次回からの説明について

就職活動など人前で考えを述べる機会も増えるでしょうから、プレゼンテーション資料、方法についてもなにかしら工夫して下さい。

「知の技法」などを参照。

来年度前期の予定

1回目～2回目 ブランドについての調査などのまとめ。

3回目～5回目 個人別ケースの最終報告

合宿する？

6回目～7回目 今年度行った予測についての事後調査の報告

それ以降 卒論の方向性報告

図表 内容とスケジュール

付	小項目
9/30	調査事例のまとめ
10/7	調査事例からのブランドエクイティ概念の規定
10/14	ブランドエクイティ概念の規定とその測定方法についての考察
10/21	事例からのブランドパワー、エクイティ概念 片平秀貴(1998)『ブランドパワーの本質』,ダイヤモンド社, 『ブランドパワー』
10/28	そもそもブランドとは?(マーケティング上の位置づけ、ブランドの機能、意味) 田中洋(1997)「マーケティング基礎概念としてのブランド」,(青木幸弘、小川孔輔、亀井昭宏、田中洋編著(1997),『最新ブランドマネジメント体系』,日本経済新聞社) 青木幸弘(1997)「ブランド階層とブランド体系」,(青木幸弘、小川孔輔、亀井昭宏、田中洋編著(1997),『最新ブランドマネジメント体系』,日本経済新聞社) ブランドエクイティの定義(概念)と測定 Aaker,David A..(1991)Managing Brand Equity, The Free Press(陶山ら訳『ブランド・エクイティ戦略』ダイヤモンド社,1994年) 1章、6章 Aaker流のブランドエクイティ概念についてまとめる(それ以降の章については、それぞれを具体化している)。個々の概念は何を示しているか?ブランド連想の測定方法についてまとめる。
11/4	青木幸弘、陶山計介、中田善啓編著(1996)『戦略的ブランド管理の展開』,中央経済社 序章~2章 様々なブランドエクイティ概念、測定方法についてまとめる。 ブランドアイデンティティ Aaker,David A..(1996)Building Strong Brand, The Free Press(陶山ら訳『競争優位のブランド戦略』ダイヤモンド社,1996年)のどこか?ブランドエクイティとブランドアイデンティティの関係は? 田中洋(1997)「ブランド主導型マーケティング・マネジメント論」,(青木幸弘、小川孔輔、亀井昭宏、田中洋編著(1997),『最新ブランドマネジメント体系』,日本経済新聞社) 上記ポイントが記述されている。
11/11	木戸茂(1994)「ブランド・エクイティ概念に基づく因果モデルの検証」,『マーケティング・サイエンス(日本マーケティング・サイエンス学会)』,Vol.3, No.1-2, p.17-41 いろいろなエクイティモデルが紹介、実証されている。 ブランドについてのその他の測定例 田中洋、丸岡吉人(1995)「ブランドメモリーズ ブランド記憶メカニズムの探索的研究」,『消費者行動研究』,Vol.2, No.2, pp.23-35 定性的な調査方法。
11/25	青木幸弘、陶山計介、中田善啓編著(1996)『戦略的ブランド管理の展開』,中央経済社 6章 絆尺度、7章 イメージ測定 青木幸弘、小川孔輔、亀井昭宏、田中洋編著(1997),『最新ブランドマネジメント体系』,日本経済新聞社の各章 16 Brandy 18 BEEPS 19 日経 企業イメージ・ブランドパワー調査 同上 20 会計的定義 21 電通 22 博報堂 23 東急エージェンシー 24 旭通 25 大広 26 Y&R 27 VR これらについて比較表を作成して違いを明確に。 個別執筆ケースについての対象、方向性説明
12/2	ブランド拡張 恩蔵直人(1997)「ブランド資産を考慮したブランド戦略」,(青木幸弘、小川孔輔、亀井昭宏、田中洋編著(1997),『最新ブランドマネジメント体系』,日本経済新聞社), 小川孔輔、金澤良昭、田中洋(1997)「ブランド拡張の成功条件」,(青木幸弘、小川孔輔、亀井昭宏、田中洋編著(1997),『最新ブランドマネジメント体系』,日本経済新聞社) 類型化や成功条件
12/9	仮説まとめ(1)
12/16	仮説まとめ(2)できれば調査票確定 多分、時間延長。
休暇中	この間に実施?
1/13	個別事例報告 多分、時間延長。
1/20	調査結果の概要報告